

地域公共交通調査事業概要

1 蒲郡市の公共交通の概況・問題点

蒲郡市は、渥美半島と知多半島に囲われた愛知県の南東部の東三河沿岸部に位置し、東側は豊川市、西側は西尾市、幸田町、北側は岡崎市に接している、市の中心部から主要都市へは、名古屋市へ約50km、豊橋市へ約17kmの距離にある。

市域は三河湾の海岸線に沿って東西に長く、平野を取り巻くように山地が分布しており、平野部を走るJR東海道本線、名鉄西尾蒲郡線を軸として、まとまった市街地が形成されており、そこへ通じる交通機関として、路線バス、タクシーなどがある。しかし市の北部、特に山間部には公共交通空白地域が広がっており、この空白地域の早期解消が必要となっている。

国勢調査による平成22年度の総人口は82,249人で、昭和60年をピークに減少傾向に転じ、平成12年以降はほぼ横ばいの状態で推移している。このうち65歳以上の老年人口は20,135人で、平成12年比で1.3倍、昭和60年比で2.3倍となっており、高齢化率は24.5%と愛知県内37市のうち2番目に高い数値となっている。本市では、平成22年度より高齢者割引タクシーチケット制度を開始し、高齢者の足の確保に取り組んできているが、高齢化は今後も続くと見込まれ、自由な移動が困難な高齢者が増えることが予想される。

モータリゼーションの進展に伴い、市内の公共交通利用者は減少し、公共交通事業者の経営が圧迫され、公共交通事業者に任せているだけでは、地域が必要とする公共交通サービスを確保することが難しくなっており、このため本市では、交通サービス維持のため交通事業者に対し支援を行っているが利用は伸びず、バス路線の廃止、名鉄西尾蒲郡線の存続問題と地域の公共交通体系に綻びがでてきている。

総合計画策定のため平成21年に実施された市民アンケートでは、公共交通の利便性の満足度が低いという結果がでており、第四次蒲郡市総合計画において「子どもや高齢者が安心して移動することのできる公共交通体系の確立」、「地域で創り、守り、育てあげる持続性の高い公共交通体系の形成」を目指し、取り組みを始めたところであるが、公共交通体系を一体的に改善する具体的な取り組みが進んでいない状況にある。

2 蒲郡市の公共交通の確保維持改善に係る計画の策定調査の必要性

総合計画策定のため平成21年に実施された市民アンケートでは、全年代を通じて「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」と公共交通の印象は大変悪いものとなっている。しかしこのアンケートからは、ルート、時間帯、運賃、周知不足などどのような項目に対して不満が大きいのかわかりにくい状況である。

平成24年度に実施した蒲郡市公共交通基礎調査において高齢者割引タクシーチケット利用者の移動状況を分析したが、チケットには移動時間帯などが記録されておらず、移動実態の全ての把握が困難な点や移動に関する利用者自身の意思や考え方が不明な点、また費用負担面からも移動の実態を把握するには不足する項目も多く、蒲郡市の今後の公共交通を検討する基礎資料としては、至らない点がある。また、タクシーチケッ

ト利用者は70歳以上の市へ申請した方のみでの移動実態が判明するので、その他の高齢者や生徒・児童など自動車が運転できない移動困難者全ての移動実態が反映されているわけではない。

本市には名鉄西尾蒲郡線や名鉄バス東部など公共交通が運行されており市民の貴重な足になっているが、一部の地域からはコミュニティバスの運行要望が出されている。しかし安易に新たなコミュニティバスのルートを引いてしまうことは、既存の公共交通の存続に悪影響を与える可能性がある。鉄道、路線バス、タクシーがそれぞれの特性を生かし、地域のニーズにあった持続可能な交通サービスの提供を図るために、市の総合的な公共交通体系を確立するための計画である地域公共交通総合連携計画の策定が急務となっているが、前述のとおり計画策定にあたり十分な調査がなされていない状況である。

そこで地域公共交通総合連携計画のため、市民アンケート等を行い、公共交通の利用実態から移動特性や公共交通に対するニーズや不満などを把握し、課題を整理し、分析する必要がある。

3 調査の内容

(1) 地域公共交通の現状把握整理

蒲郡市の各地域特性を考慮しつつ、地勢、人口・産業、土地利用・市街化状況、主要施設分布、交通網（道路・公共交通）及び利用状況、人の動き（通勤・通学、その他）などの現状について、各種統計書等の既存資料を用いて整理する。また、交通に関する事柄については、蒲郡市の周辺地域を含めた広域的な視野から現状を把握するとともに、交通課題の抽出やその改善策検討等を念頭に置き、蒲郡市における都市交通のネットワーク及びこれを構成する交通機関（鉄道、路線バス、タクシー等）を把握し、それぞれの交通機関ごとに施設や利用状況、経営状況等を整理する。

(2) バス利用実態等調査の実施

蒲郡市内のバス路線について、バス停別の乗降者数調査、及び現在の利用者の満足度等を把握するためのアンケート調査を実施し、バス利用実態について整理、分析を行う。

(3) 市民アンケート調査実施

現状の交通実態だけでは判断が困難である市民の潜在的な公共交通需要や現交通システムの問題点、移動実態等、市民ニーズを把握するためのアンケート調査を行う。

(4) グループヒアリング調査

公共交通空白地域、コミバス要望地区における生活行動や公共交通の問題点等を把握するためグループヒアリングを開催し、当該地域における公共交通のあり方、展開を整理する。

(5) 調査のとりまとめ

(1)～(4)の調査内容を踏まえ、公共交通に期待される役割と必要なサービスレベル、各モードの役割分担と連携等について整理する。